

県民の友

昭和61年
2月号

発行/和歌山県 知事公室 広報企画課 TEL 0734(32)4111

思い出づくり 実感教育

紀北地方に今年三度目の積雪がいった寒い日。西牟婁郡中辺路町立二川小学校では、子どもたちが半そでシャツ、半ズボン姿で校庭へ飛び出してきました。

男の子も女の子も一輪車に乗ってグラウンドをスーイスイ。二年生以上のはみんな一輪車に乗れます。一輪車は、「在校中、何かに取り組んで達成した喜びを味わわせたい」(西敬校長)という思い出づくりの一環として取り入れたもの。同校は県教育委員会の体力つくり指定校でもあります。

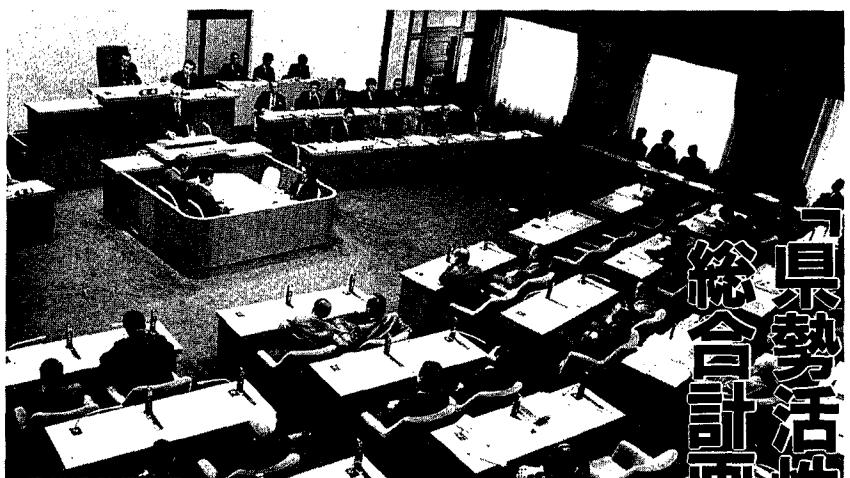
いま、生き生き遊んだ実感、意欲的に勉強した実感、すくんで家事に参加した実感——生活体験を通して子どもたち一人ひとりに生きる喜びを実感させるとともに、大きな生きがいを持たせることが大切ではないでしょうか。

校庭の向こう側にある父兄が手づくりで設置してくれた遊具からは小学生の子どもたちの歓声が聞こえてきました。



昭和61年2月1日

「県勢活性化、第四次長期総合計画などで活発な論議」



昭和六十年十二月定例会は、十二月三日から十九日ま

での十七日間にわたり開かれ、補正予算案をはじめ、和歌山県婦人休養施設設置及び管理条例を廃止する条例案など十六件と知事専決処分報告一件、昭和五十九年度和歌山県公営企業決算の認定について、それぞれ原案どおり可決、承認または認定されました。

また、「地方バス路線維持整備に関する意見書」が全会一致で可決され、関係機関へ要請されることになりました。

なお、昭和五十九年度和歌山県歳入歳出決算の認定にかかる決算審査特別委員会が設置され、閉会中の継続審査とされるとともに、委員の選任が行われました。

一般質問では十三人の議員が質問に立ち、県勢活性化のための諸施策、内閣と県内産業の対応、関西国際空港と地域整備、第四次長期総合計画、医大再開発、福祉対策、同和対策、道路整備、紀の川大堰、和歌浦開発計画及び昭和六十一年度予算編成等の諸問題について質疑が行われました。

主な答弁は次のとおりです。

● 県勢活性化のための諸施策
本県の産業経済も、いま、厳しい時代である。この時代こそ、これからからの発展への基礎づくりだと考へている。

● 円高と県内産業の対応
輸出関連中小企業において、悪影響を受ける懸念があり、国が緊急融資対策を講じておるほか、信託等についても検討されている。

また都市環境の整備、工業と学問との連携、県新空港の設置、企業誘致の推進等、県勢発展への基

本県の財政事情は歳入面での厳しい状況に加え、歳出面では公債費をはじめ、義務的経費の増加が見込まれ、格段に厳しい状況になると考へられる。そのため、既に事務、事業の事前点検を実施したこところである。予算編成に当たっては、国庫補助金をはじめとする資金計画は民間資金の導入を図っていく。整備事業については、市、県、開発公社の三者で加太地域開発整備推進協議会を設置して検討中である。

● 第四次和歌山県長期総合計画
長期計画は夢と希望を持ち、しかも現実の問題点を十分把握したところである。

今回の計画は二十一世紀を目指して、高齢化、国際化の進む時代、技術革新、情報化の時代のなかで、県民の豊かさを求めるため、本県

開発、技術力の向上、人材養成等、経営基盤の強化策を積極的に推進する。

● 関西国際空港と地域整備計画

関西国際空港関連施設整備大綱は先般発表されたが、財政状況が非常に厳しいため、民間資本の導入を考慮して決定されている。

整備大綱の今回の決定をもって実施段階に入るが、地方自治体は都市基盤の整備計画、産業振興計画を策定して国に協力を求めるところとなる。

本県としては、地域整備計画の「成案」化に着手する。

今回の整備大綱に盛られた大阪府との県境の幹線道路や土砂採取跡地の整備、住宅等の問題では、ある程度の評価をしている。今後これらが実現に努力していく。

なお、土取り跡地の整備に関する資金計画は民間資金の導入を図っていく。整備事業については、市、県、開発公社の三者で加太地域開発整備推進協議会を設置して検討中である。

紀の川上流ダム建設は整備大綱に位置づけられた紀の川大堰と密接な連携をとりながら、国の融資制度の円滑な利用を積極的に推進するとともに、経営安定資金等、既存の融資制度の活用を図つていきたい。

国の補助金カットによる本県の減収は本年度は三十五億円であったが、来年度についても、社会保障、基幹公共事業等で引き下げの動きがみられ、実施された場合は本県も大きな影響を受ける。このため、国に対し、全国知事会、議長会等を通じ、一律カットをしないよう強く訴えている。

同和関係予算是、法の最終年度の年であり、十分配慮するとともに、特に国の予算獲得に重点を置いて対処していく。

の素晴らしい資源、自然、文化等をなお一層生かし、「活力と文化あふれるふるさとづくり」を目標に策定中のものである。

特に、人口の落ち込みをどうするか、そのために雇用の場の増大や産業の振興、それを支える交通体系の整備等を考えて計画の中に諸施策を総合的、体系的につくっていきたい。



県民の友

最少の経費で最大の効果を 和歌山県 行政改革大綱を策定

本県では簡素で効率的な行政を目指して、これまで国に先がけて積極的に行政改革を推進してきました。けれども本県を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にあります。こうした中で新たな行政課題に的確に対処しながら県勢の浮揚と県民福祉の向上を図っていくためには、時代に対応した行政のあり方を求めて行財政全般にわたり抜本的な見直しを行う必要があります。

そこで従来の取り組みをさらに本格化させるため、去年の七月、県庁内に知事を本部長とする行政改革推進本部を設置して行政改革大綱の策定に取り組んできました。

同時に各界の代表十三人で構成される行政改革推進懇話会（会長山東永夫・社会経済研究所理事長）が発足。この懇話会の意見等をふまえ、十二月に行政改革大綱が策定されました。

大綱は「事務事業の見直し」「組織機構の見直し」「人事管理の見直し」「OA（オフィスオートメーション）化等事務改革の推進」「会館等公的施設の設置運営の合理化」「外部団体、公営企業等のあり方」の六項目を重点として今後おおむね三年間に進めていく行政改革の基本的な考え方を示すものです。

この大綱に沿って行政改革推進本部では、県行政全体を効率化し、県民の二点に対応した県政の推進に取り組んでいきます。

本県の取り組み

重 点 項 目

本県では昭和五十年代以後、定員の削減、組織・機構の簡素化、効率化、事務事業の見直しの三点を中心に行行政改革を進めてきました。

事務事業の見直し
一般にわたって行政効率や行政サービスと負担の公平の確保などに配意して徹底した整理、合理化を進めます。

事務事業の目的の達成されたもの、目的の薄れたもの、実質的効力を示すものです。

①給与

国基準とほぼ同じになっていませんが、今後も適正化に努め

②人事管理の見直し

情勢の変化に的確に対応しつつ「活力と文化あふれる県づくり」を推進するため、現在の組織の見直しを行います。

③組織機構の見直し

細分化されている同種の事務事業で統合できるものは統合します。県単独補助金については、県政の推進上、真に必要なものにだけ交付するよう見直します。

④外部団体、公営企業のあり方

各団体の設立の目的、活動の実態、機能などについて見直しを行い、県と団体が一体となる、簡素な運営体制をつくるなど施設運営の効率化を図ります。

経営の健全化、効率化についても一層努力します。

た。

定員の削減については昭和五十五年度から五十四年度までに百七十五人、昭和五十七年度から昭和六十一年四月までに百三十五人の合計三百十人を削減しました。

組織・機構の簡素化では昭和五十三年に和歌山県行政組織検討委員会を設置し、二局、二課室、二地方機関の廃止、二課室、一方機関の統合を行いました。一方、電子計算課、企業立地対策室、空港対策室などを設置し、新しい行政需要への積極的な対応を図りました。

事務事業の見直しについて

昭和五十六年に和歌山県行財政改革本部を設置、昭和五十七年度当初予算から積極的な見直しに取り組み、昭和六十一年度には二百七十二件、六十一億二千二百万円の見直しを行い、百七十六件、六十四億八千八百万円の新しい行政需要の財源に充当しました。

また昭和五十六年度からコンピューターを導入したほか、職員給与の一号切り下げや高年齢者の昇給延伸などを実施、職員研修の充実にも取り組んできました。



県庁舎

ます。
②定員管理

公務能率をアップして、少数精銳主義を実現し、限られた財源の中で住民サービスの向上を図ります。具体的には昭和六十一年度も定数削減を引き続き行います。

③職員の能力開発

最少の経費で最大の効果を上げるため職員の資質の向上、能力開発、職員一人ひとりのモラルの向上により活気あふれる職場をつくります。

OA化等事務改革の推進

中期、長期計画の作成、推進体制の確立などにより全庁的に条件整備を行いながらOA化を推進します。

④事務改善の推進

事務処理の迅速化、効率化を推進します。

会館等公的施設の設置運営の合理化

施設設置の必要性、運営主体および運営方法等を常に見直しながら、簡素な運営体制をつくるなど施設運営の効率化を図ります。

各団体の設立の目的、活動の実態、機能などについて見直しを行い、県と団体が一体となる、簡素な運営体制をつくるなど施設運営の効率化、活性化に努めます。

いじめ

まず相談してください

いま、学校では児童、生徒のあいだに「いじめ」が多発し、教育問題となっています。

いじめの背景には、学校での教師の指導の問題、学歴偏重の社会、他人への思いやりやいたわりなどを失った社会的風潮、家庭

のしつけの問題、マスコミの影響、地域での連帯感の欠如などそれらの要因が複雑にからみ合っています。

県教育委員会が県下の公立の小学校、高校五百五校を対象に行つた調査では、昭和五十九年四月から昭和六十年三月までの一年間に、全体で百三十七校、二百六十五件のいじめがあり、小学生百五十六人（うち女子八十五人）、中学生一百九十四人（百十三人）、高校生二十六人（七人）がいじめにあっています。

もつとも、いじめは本来数字になじむものではなく、どの程度のものをいじめといふのか、はつきりした基準がありません（警察では「単独又は複数の特定人に対し身体に対する物理的攻撃又は言動による脅し、いやがらせ、無視等の心理的圧迫を反復継続して加えることによる苦痛を与えること」

としています）。こうして表面に出てくるのはごく一部なのです。いじめの手段としては、けったりなぐったりの暴力が小学校と中学校でいちばん多く、高校では二番目になっています。また、ことばでの脅しが高校では一番多く、小学校と中学校では二番目になっています。このほか、金品を取る、持ち物を隠したり壊したりする、仲間はずれにする、いやがる行為を強制するといったように、いじめは多種多様にわたっています。しかも以前に比べ、はるかに陰湿で巧妙になっています。



いじめの特徴

いじめの加害児童生徒は小学校六百八人、中学校八百二十二人、高校百三十二人おり、動機としてはいじめの被害児童生徒の特徴は「おとなしい」がいちばん多くな

家庭の対応

県では昨年末に、いじめ関係の相談を受けている機関の連絡会議を開き、各機関の連絡をとり合いながら相談にあたっています。家庭では次の点に注意してください。

- 日々から何でも話し合える雰囲気をつくりましょう。
- 善惡のけじめをつけ、人をいたさない。
- わるやさしい心を育てましょ。
- 子どもの日常生活に十分目を配りましょう。いじめられた子は衣服が破れたり、食欲がなくなったりすることがあります。
- いじめを知つたら感情的にならず、早いうちに学校に連絡するか下記の相談機関にお気軽に相談してください。

和歌山市内	和歌山市民相談センター	☎0734(32)0001内線2109-2111
	和歌山市立少年補導センター	☎0734(25)2351
	よい母（よいパパ）電話 県庁青少年課内	☎0734(32)4188
	和歌山県中央児童相談所	☎0734(24)4366・(24)4368
	和歌山地方法務局人権擁護課	☎0734(22)5131
	ヤングテレホン 県警防犯少年課内	☎0734(25)7867
	和歌山少年鑑別所	☎0734(25)5369
海草地方	海草地方家庭児童青少年相談室 海草県事務所民生課内	☎0734(32)4111内線2628
	子育て110番（野上町立青少年センター内）	☎073489-2430
	海南市青少年センター	☎07348(2)0807
	下津町立青少年センター	☎07349(2)3508
	美里町青少年センター	☎07349(5)3171
那賀地方	那賀地方家庭児童青少年相談室 那賀県事務所民生課内	☎0736(63)0100内線255
	那賀郡青少年補導センター	☎0736(62)3179
伊都地方	伊都地方青少年相談室 伊都県事務所民生課内	☎07363(4)1700内線252
	橋本市青少年センター	☎07363(2)2124
	高野口青少年センター	☎07364(2)4457
	九度山町青少年センター	☎073654-2019
	かつらぎ町青少年センター	☎07362(2)6075
	和歌山地方法務局妙寺支局	☎07362(2)0141

有田地方	有田地方家庭児童青少年相談室 有田県事務所民生課内	☎0737(63)4111内線219
	有田市家庭児童青少年相談室	☎0737(83)1111内線288
	有田市青少年センター	☎0737(82)3591
	有田郡青少年センター	☎0737(62)3563
日高地方	日高地方家庭児童青少年相談室 日高県事務所民生課内	☎0738(22)3111内線209
	御坊市家庭児童青少年相談室	☎0738(22)4111内線243
	御坊広域青少年補導センター	☎0738(22)2359
	和歌山地方法務局御坊支局	☎0738(22)0335
西牟婁地方	西牟婁地方家庭児童青少年相談室 西牟婁県事務所民生課内	☎0739(25)2656内線234
	田辺市家庭児童青少年相談室	☎0739(22)5300内線3153
	田辺青少年補導センター	☎0739(22)3177
	和歌山地方法務局田辺支局	☎0739(22)0698
那智勝浦地方	和歌山県紀南児童相談所	☎0739(22)1588
	白浜青少年補導センター	☎0739(42)2992
	串本少年補導センター	☎07356(2)0800
	東牟婁地方家庭児童青少年相談室 東牟婁県事務所民生課内	☎0735(22)8551内線269
伊都地方	新宮市家庭児童青少年相談室	☎0735(22)5231内線314
	新宮市立少年補導センター	☎0735(22)3861
	那智勝浦町青少年補導センター	☎07355(2)1138
	和歌山地方法務局新宮支局	☎0735(22)2757
和歌山県	和歌山県紀南児童相談所新宮分室	☎0735(22)8551

「がん予防特集」

早期発見・早期治療



がん検診推進ポスター公募作品より
和歌山市 佐藤円さんの作品

今、わかやまは……

しかもがんは、死因の第一位を占め、四人のうち一人はがんで死亡しています。

今、和歌山は、がんの死亡率が全国一高くなっています。

本県では、がん予防の啓発やがん検診の推進を行ってきましたが、今こそ、全県あげてがん予防に取り組まなければなりません。

がん検診の大切さを理解して県民一人ひとりが、自らがん予防を実践し、人生八十年を自分のものにしていただきたいと思います。

今や日本は、世界一の長寿国となり、人生八十年時代を謳歌(おうか)しています。

しかし、忘れてはならないことは、がんをはじめとする成人病などで死亡する人がいるため、実際に八十歳まで生きられる人は、約半数しかいないということです。

今や日本は、世界一の長寿国となり、人生八十年時代を謳歌(おうか)

がんでも死なないためには

がんの予防は大きく三つに分けて考えられます。

まず一つめは、がんにからないうようにすることです。生活習慣の改善などでがんの要因を取り除くことにより、がんの発生を減少させることができます。

二つめはがんにからつても早めに発見し、早めに治療を受けることです。

さらに、三つめにがんの治療があります。医学の進歩により、がんも不治の病とい切れなくなっています。

定期検診を受けることです。

(乳がんの場合は自分で見つけられます)
がんを早めに発見することは、がんに対し大きな防波堤を築くことになります。

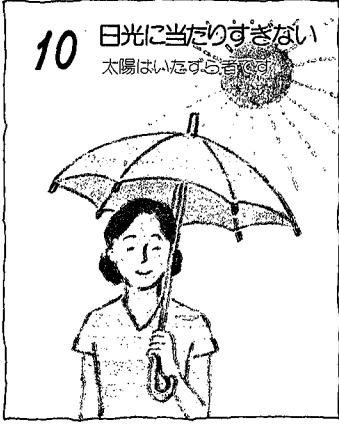
食生活などで日常生活に注意することが大切です。

国立がんセンターのがん予防の十二大条を七ページで説明しています。



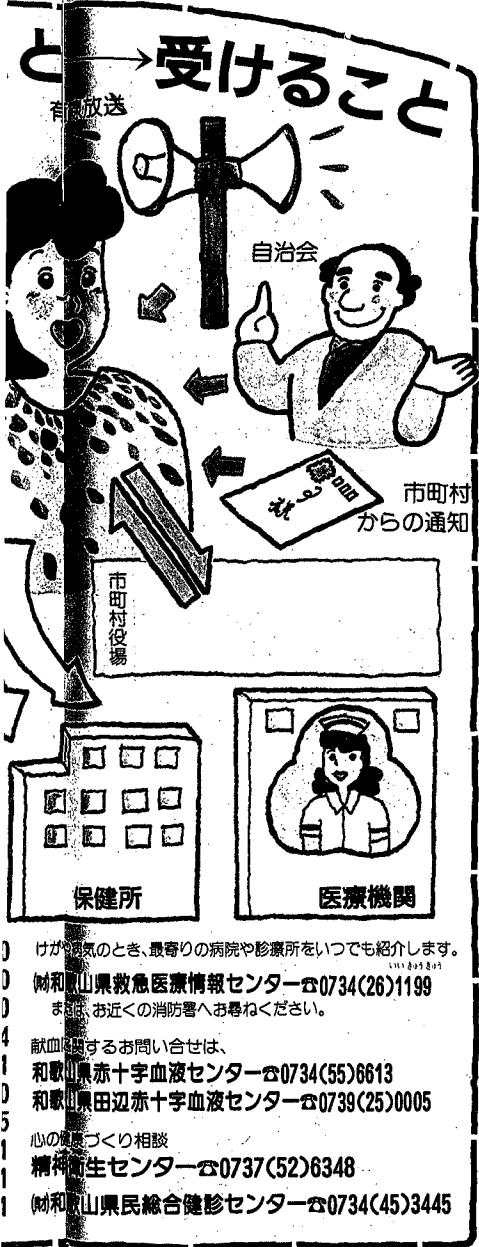
- 和歌山市
- がん検診受けて知った健康の尊さ
 - 健康と思う人ほど先ずがん検診
 - 健康じまんはあるにはならぬ
 - おかしいと気がつく前にがん検診
 - 癌なんて先に直せば直るもの
 - たばこをすうなガンのもどになる
 - ガン検診受けて幸せ家族なり
 - ガン検診うけて安心こぼれる笑顔
 - ガン検診うけて幸せ家族なり
 - さそい合い地域ぐるみでがん検診
 - 「忙しいから」が手遅れまねくもど
 - 日頃丈夫な身体でも年に一度はガ
 - ン検診
 - がん年齢まさかの心得定期検診
 - まず検診がんはあなたの油断から
 - 手おくれで悲しむまえにがん検診
 - わずかな過信家庭の不幸
 - 治るがん治されあなたの無関心
 - がん検診受けて安心明るい家族
 - お隣さんもお向いさんも誘いあわせてがん検診
 - ガン検診家族そろって早期発見
 - がん検診受けて安心湧く笑顔
 - 生きる知恵つれもといこらがん検診
 - かかる前一寸と気軽にがん検診
 - 異常なし癌検診にVサイン
 - 健康第一がん検診
 - がん検診行こう守ろうあなたの命
 - 癌の恐怖におののくよりも勇気をもつてがん検診受けるあなたが守られる
 - ガン検診つれもて行こうよ我が身のため
- がん検診推進の標語
- したところ、たくさんのご感想をいただきありがとうございました。紙面の都合で一部を掲載させていただきます。(原文のまま掲載)

がん予防12カ条



- 受診スル心ハガン無ク心晴レ
- 恐れずにはやく受けようガンの検診
- まず健康検診受けて明日の幸せ
- あなたも行きましょう私もいきま
- す一度は受けますガン検診
- この機会つれもていいからガン検診
- がん検診うけて明るい家庭づくり
- 気をもまづ勇気を出して検診を
- こわいがん早期発見で明るい日
- ガン検診ですこやかにこやか明るかに
- 病気知らずの私も受けます“がん
- ガン退治小さな治療大きなよろこび
- 検診はがん予防の安心料
- おそれるな進んで受けよろこびを
- 誕生日の予定に入れようガン検診
- がん検診であなたをがんから守ります
- 検診はがん予防の安心料
- がん検診受けた笑顔に明日がある
- 身を守り幸せ築くがん検診
- すこやかな長寿願つてがん検診を
- 家族のしあわせがん検診を
- がん検診早く発見すぐ治療
- ガン検診またの機会が悔やまれる
- がん検診明日の安心
- 今日の検診明日の安心
- しのびよる病魔たちきれがん検診
- 検診でがんこなガンも一もくさん
- 検診で早期発見ガン予防
- 海南省
- 怖がらず気軽に受けようがん検診
- あわせのあすを目指してがん検診
- 検診で明るく今日も働く
- 安心を早いもの勝がん検診
- あとで泣くより笑って定期にがん検診
- 検診で明るく今日も働く
- あのときに……と後悔しない方
- 手遅れは命落として後の悔
- こわいがん防ぐ方法検診で
- 検診！

くるには



県下のすべての市町村で、「老人保健法」に基づきがん検診などの各種保健事業が実施されています。

がん検診の内容



胃がん検診

胃のレントゲン撮影

子宮がん検診

子宮(頸部)の細胞の検査

乳がん検診

乳房の超音波検査

胸部検診

胸のレントゲン撮影

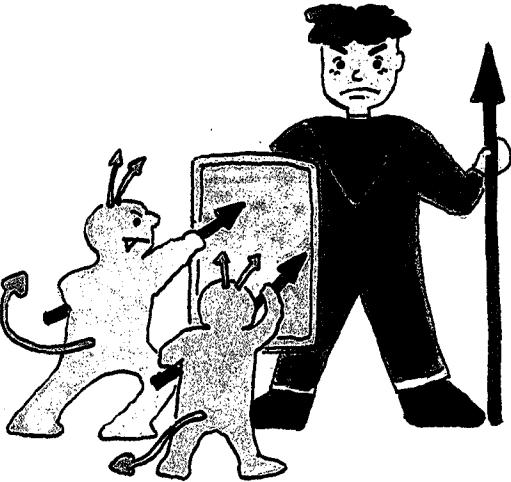
必要な方はたんの細胞の検査

検診方法はそれぞれがいますが、いずれも手軽に受けられます。また判定は専門医が行います。なお必要な方はさらにくわしい検査を受けることになります。

検診の料金

「自分の健康は自分で守る」という趣旨からいざれの検診も一部負担が必要です。

これらの検診は、お住まいの市町村が実施していますので、くわしくは市町村の保健衛生担当課にお問い合わせください。



- けがん気のとき、最寄りの病院や診療所をいつでも紹介します。
- 勝利山県救急医療情報センター☎0734(26)1199
または、お近くの消防署へお尋ねください。
- 献血に関するお問い合わせは、
和歌山県赤十字血液センター☎0734(55)6613
和歌山県田辺赤十字血液センター☎0739(25)0005
- 心の健康づくり相談
精神衛生センター☎0737(52)6348
- 勝利山県民総合健診センター☎0734(45)3445

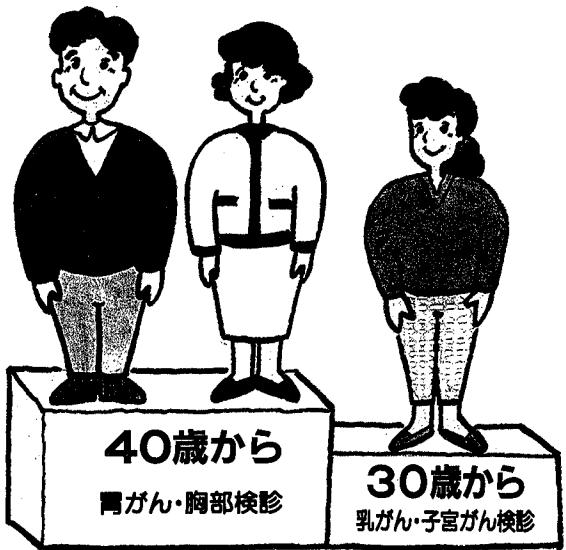
- 岩出町 野上町 ● 今日の検診あしたの笑顔
- 貴志川町 ● ガン検診受けて笑える明日の日を
- がん検診受けて安心どころもからだも
- 定期検診今年も検診まず安心
- 打田町 ● がん検診受けて安心明るい家庭
- 那賀町 ● 隣組声かけあってさあガン検診
- 粉河町 ● ガン検診守り守られ命はひとつ
- 桃山町 ● 先ず検診あなたをガンから守ります
- 下津町 ● ガン検診受けなきや
- 野上町 ● ガン検診受ければ安心受けなきや
- 野上町 ● 欠かせない予防医学のがん検診
- 野上町 ● 若くとも油断は大敵がん検診
- 野上町 ● みんな長生き年一回のがん検診で
- 野上町 ● がん検はわが家の行事みんなで楽しい人生を
- 海南省 ● 今年もまずは安心がん検診受けて
- 海南省 ● 心のまよいはがん検診に託そう
- 海南省 ● 健康はあなたの宝県民の誇り
- 海南省 ● 守ろう健康地域ぐるみでがん検診
- 海南省 ● 捱つて定期のがん検診心豊かな健康づくり
- 海南省 ● 守らう健康地域ぐるみでがん検診
- 海南省 ● がん検はわが家の行事みんなで楽しい人生を

がん検診を受けよう。

がん検診を受けられる人は

40歳以上の方は市町村が行うがん検診を受けることができます。ただし、子宮がん検診・乳がん検診は30歳から受けることができます。

職場でがん検診を受ける場合もあります。



がん検診は次の3つの方法で実施しています



集団検診（検診車）

保健センター・公民館など皆さんのがん検診車が巡回しています。

保健所

高野口、御坊、田辺、新宮保健所では、胃、子宮がん検診が受けられます。また、和歌山市の中、西保健所では子宮がん検診が受けられます。

医療機関

最寄りの医療機関で検診が受けられます。

検診を知ること

広報紙 有線放送

友人・知人

回覧板

保健

検診車

岩出保健所 0736(63)0100
高野口保健所 07364(2)3210
海南保健所 07348(2)0600
湯浅保健所 0737(63)2244
御坊保健所 0738(22)3481
田辺保健所 0739(22)1200
古座保健所 07357(2)0525
新宮保健所 0735(22)8551
和歌山市中央保健所 0734(33)2261
和歌山市西保健所 0734(55)4181

けがん病院の
樹和歌山県
または、おまえ
献血に関する
和歌山県赤十字会
心の健康づくり
精神衛生110
和歌山県立
精神衛生センター

高野口町

- 検診で早期発見大事にいたらず
- 自覚して進んで受けようがん検診
- がん検診一声かける両隣り

かづらぎ町

- 検診で早期発見大事にいたらず
- 人ごとと思わず迷わずがん検診
- 隣人誘い合って受けようがん検診

湯浅町

- 検診で早めにつみ取るがんの芽を
- 毎年の受診こそ手軽ながん予防
- がん検診毎年受けて毎年健康
- 気軽に受けるがん検診手軽にがんを防ぐ道
- 毎年のがん検診何よりの予防策

- 金屋町
● 明るい家庭は検診から
- 金屋町
● 自分の体は自分で管理進んで受けようがん検診
- 吉備町
● ガン検診受けて安心よくねむる
- 金屋町
● がん予防たよる検診明るい未来
- 金屋町
● がん検診受けたあなたが守られる
- 金屋町
● 受けよう年に一度のがん検診
- 金屋町
● がん検診受けた一度の誕生日
- 金屋町
● ガン検診受けて県民みな健康
- 金屋町
● こわいこわい無症状受けてよかつたがん検診

- 湯浅町
● がん検診あなたの為家族のため
- 有田市
● がん検診思案するより実行
- 高野町
● 県民の一人残さずがん検診
- 有田市
● 今日明日と心配するよりがん検診
- 高野町
● 幸福家族のがん検診
- 高野町
● 誘い合いあなたも私もがん検診
- 湯浅町
● こわな年に一度のがん検診
- 有田市
● ガン検診すませた後の安心感
- 有田市
● 健やかな暮らしはがんの検診で
- 高野町
● がん検診思案するより実行
- 高野町
● がん検診すませた後の安心感
- 高野町
● 健やかな暮らしはがんの検診で
- 九度山町
● がん検診で早めにつみ取るがんの芽を
- 九度山町
● がん検診毎年受けて毎年健康
- 九度山町
● 気軽に受けるがん検診手軽にがんを防ぐ道
- 九度山町
● 毎年のがん検診何よりの予防策

- 高野町
● がん検診わたくしとあなたの名言集
- 高野町
● なやむより受けて安心がん検診
- 高野町
● 怖がらず連れもて受けようがん検診
- 高野町
● がん検診一声かける両隣り
- 高野町
● ささいあつて受けよう婦人検診
- 高野町
● 検診で早期発見大事にいたらず
- 高野町
● 人ごとと思わず迷わずがん検診
- 高野町
● 隣人誘い合って受けようがん検診
- 高野町
● がん検診一声かける両隣り
- 高野町
● がん検診わたくしとあなたの名言集
- 高野町
● なやむより受けて安心がん検診
- 高野町
● 怖がらず連れもて受けようがん検診
- 高野町
● がん検診一声かける両隣り

がん検診Q&A

検診を受ける必要があります。

問1 がん年齢は何歳からですか。
答 がんによる死亡は年齢が高くなるほど多くなり、三十五歳から七十四歳において死亡順位第一位であり死亡者の三四%を占めています。がん年齢は男性では四十歳から、女性では三十歳からといわれています。



問6 検診で発見されたがんは治るのですか。

答 每年検診を受けていれば、がんは早期のうちに発見されますので一〇〇パーセント近く治ります。がんは自覚症状のないままに進行するので、毎年検診を受けることが大切です。



問2 なぜがん検診が必要なのです

か。

答 現在の医学では、がんを完全に予防することはできません。しかし、早期がんのうちに発見して治療すればほとんどの治ります。早期発見のためには年に一度定期的に検診を受けることが必要です。

問3 検診は毎年受けないといけないのですか。

答 がんは一年以上間隔をおくと早期発見、早期治療につながらない場合が多くなります。従って年に一回はがん



1000

がん検診発見率

問5 検診で本当にがんは見つかるのですか。

答 市町村が行っている検診は、専門家によって確立された信頼性のある方法で、全国的に実施されています。その結果、約千人に一人の割合でがんが発見されています。



問7 検診を受けたら、精密検査が必要といわれました。どうすればよいのですか。

答 専門の医療機関に行つて精密検査を必ず受けてください。第一次の検診では専門医の判定によって疑わしいものをふるい分けます。精密検査の結果、がんと診断されるのは受診者千人につき一人ぐらいですが、がん以外の病気がその十倍以上も発見されています。

この精密検査を受けなければせっかく検診を受けた意味がなくなります。精密検査は必ず受けましょう。

- 金屋町 検診でガンから守ろう自分の体
- すぐがん検診妻のために子のために
- 検診は第一健康第一
- ガン検診受けて安心明るい家庭
- 誰もが知っている無症状皆で行こうがん検診

- ゼひ検診を家族みんなで安心ね
- ストップ・ザ・ガン! 受診から
- ひとつ命守る定期のがん検診
- がんの予防に後押す検診
- がん検診こわい魔の手をひきとめる
- がん検診受ける社会に笑顔が並ぶ
- 検診をいいのちをのばす一里塚
- ガン検診わすれずみんなで誘い合
- 検診をうけて安心あかるい家族
- これがまずうけようがん検診
- 検診を受けて発見おくれぬ治療
- がん検診わすれずみんなで誘い合
- 受けてこそ予防となりますがん検診

美浜町

- 川辺町
- がんの予防に後押す検診
- がん検診こわい魔の手をひきとめる
- がん検診受ける社会に笑顔が並ぶ
- 検診をいいのちをのばす一里塚
- ガン検診わすれずみんなで誘い合
- 受けてこそ予防となりますがん検診

中津村

- 龍神村
- これがまずうけようがん検診
- 検診を受けて発見おくれぬ治療
- がん検診わすれずみんなで誘い合
- 受けてこそ予防となりますがん検診

美山村

- 南部川村
- がん検診わすれずみんなで誘い合
- 受けてこそ予防となりますがん検診

南部川村

- 龍神村
- これがまずうけようがん検診
- 検診を受けて発見おくれぬ治療
- がん検診わすれずみんなで誘い合
- 受けてこそ予防となりますがん検診

南部川村

- 田辺市
- ガン検診受けて心はいつも安定
- 育てよう健康! 和歌山! ガン検診
- 受けてます長寿の秘訣ガン検診
- がん検診受けて安心笑顔家族
- 健康は自分で守ろうがん検診で
- しあわせに生きる知恵ですがん検診
- 成人のあしたは先ずがん検から
- ガン検診わたしも一役がん退治
- 泣く前に笑って受けようがん検診

田辺市

- 上富田町
- がん検診受けて安心明日へのそなえ
- 守ろう健康年一度がん検診
- がん検診受けて安心明日へのそなえ
- 守ろう健康年一度がん検診

上富田町

- 日置川町
- ガン検診受けて明るいこの笑顔
- がん検診受けて安心明日へのそなえ
- 守ろう健康年一度がん検診
- 守ろう健康年一度がん検診

新宮市

乳がんの自己検診法

乳がんは自分で気をつけていれば、ごくわかりやすい症状、つまり乳房の中に小さい、かたい、痛みのないしこりで見つかります。

毎月生理が終わった日の4~5日後、閉経した人は毎月1日とか忘れにくい日を決めて、しこりができるないかどうか調べます。これが乳がんの自己検診法です。

乳がんのできやすいところ

例：右乳房

全体にまたがるもの	3%
多	2%

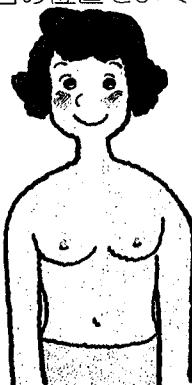
44%	25%
12%	9%
4%	

—自己検診の方法—

*鏡に向かって、乳房のくぼみや、ひきつったところがないか確かめます。

1 両手を下げて、正面、側面、そして斜めから左右の乳房の大きさ、形、乳首の位置をよく見ます。

- 乳首のくぼみや、ひきつったところはないか。
- 乳首がへこんだり、湿疹のようなただれはないか。



- 県外
- 古座川町
- このつぎといわずに受けようガン検診
- 手遅れになるより先にガン検診
- 先ず健康年に一度はがん検診
- 思つたより恐くはないんだがん検診
- おそい
- ガンはなおさななおらない
- 誘い合い地域ぐるみのがん検診
- 四十代あなたも私もがん年齢
- がん検診となり近所説い合い
- がんたなときづいたところでもう
- おくれになるまでにいこうがん検診
- 早めにわすれずがん検診
- がん予防十二力条を守りましょう
- がん検診はやけりやなおりります
- がんはがんばれがんちりよう
- 赤しんごう
- 症状が出てからおそいまず検診
- 命が助かる早ければ！
- もう一本という言葉ではいガンの
- あなたにもありますがんのめ
- 自分にはが一番禁物まずはがん検診
- がんの予防は自分のために
- やめられないタバコをかた手にガ
- ん検診
- なつてはおそいがん検診
- あなたにもありますがんのめ
- 無症状がんのこわさはここにある
- がんの予防は自分のために
- やめられないタバコをかた手にガ
- ん検診
- なつてはおそいがん検診
- けんしんであなたの体大切に
- 身にも
- 受けようがん検家族のためにも我

2

両手を高くあげて、1と同じように調べます。



*あおむけになって、しこりがないか確かめます。

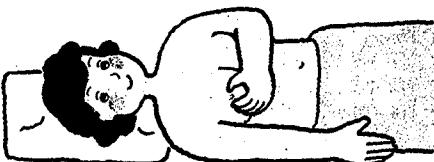
3

調べる側の腕を頭の下に入れます。反対側の手で図のように中心から外に、うずまき状にまんべんなく両方の乳房を調べます。



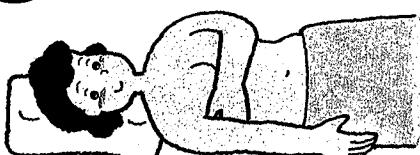
4

腕をはずして、再度同じように両方の乳房を調べます。



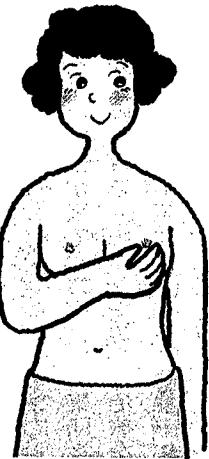
5

脇の下にもぐりぐりがないか調べます。



6

最後に乳首を軽くつまみ、乳をしぶり出すようにして、血のような異常な液が出ないか調べます。



癌 意

- しこりがあっても、がんとは限りません。むしろがんでない場合の方が多いものです。心配しないで専門医（外科）をたずねることが大切です。
- 自己検診法の詳細については保健婦さんにお尋ねください。

新富市
那智勝浦町
●受けようがん検家族のためにも我
身にも

昭和61年2月1日

和歌山市 T・M 七十五歳

「若きとて末を遙かに思うなよ無常の風はときをきらわづ」と詠まれた有名な道歌がございますように、何よりも自分の今日の健康が続く保障はございません。

私は看護職ですが、皆様のお役に立てばと思い、私の乳がん体験をお話しします。

約三年前、入浴後右乳房下方に小豆大の腫瘍を発見しました。まさかこんなに健康なんだからと思い、別に気にもせずに経過観察を続けました。一時は気にしないで放っておこうとさえ考えましたが、がんであったとすれば早期発見、早期治療以外に助かる方法はないのだからと思

県民の友

あれから十年

南部川村 Y・O 四十二歳

あれは十年前の秋、私はまだ若いし、恥ずかしいと思いながらも検診車で子宮がん検診を受けました。

一ヶ月後、保健婦さんが一通の封筒を持って訪ねてこられ、「今度の検診でかかりました。心配いりませんが今一度専門医で再検査を受けてください」と言されました。

まさか自分にがんの疑いがあるとは思ひもよらず、一瞬何のことかわかりませんでした。

親切な保健所の方々の計らいで、私は専門医で再検査を受けたのです。付き添ってくれた義姉のほうが落ち着かない様子

い、家族に打ち開け思い切って組織検査を受けました。

一週間後、結果は先に息子に知らされ

ましたが家族ともども大きなショックを受けました。その瞬間私は早く手術だと決心し、すべてを息子夫婦に一任し入院しました。今年三月で三ヵ年となります

手術後の経過は順調で、三週間で退院

が、体力にも自信がついてまいりましたし、これからも持てるものを社会のお役にと考へています。

健康だからと決して過信されず、がん年齢になられましたら年一回検診を受けることです。また、乳がんについては正しい自己検診ができます。定期的に入浴時にを行うことです。そして万一本おかしいなど気付いたら、医師にたずねるから進んで自身を守ることでございます。

県下各地域の看護職に気軽にご相談ください。手遅れにならないためには自分がら進んで自身を守ることでございます。女性は自分のことは次の次になりますが、与えられた尊い生命です。大切にいたしましょう。

私の
体験談

は、「間違いないとは」と尋ね返すと、「はい、子宮がんです。でも心配いりませんよ。手術すれば百パーセント治ります」ときつぱり答えてくれたものの、後は何を聞いたのか分かりません。帰りの車中は沈黙の私たち夫婦でした。

幼子三人を残しての入院は気がかりでしたが、家族や親戚近所の人たちの励ましを頂き、二月五日に六時間に及ぶ手術は無事すぎました。結果は良好で、先生や看護婦さんを驚かせました。

今では梅取り、草刈りと仕事、スポーツに張り切っています。これもひとえに集団検診のおかげです。早期発見、早期治療をしていただいたからこそです。どうぞ皆様も検診を受けて健康管理をしませんか。健康に勝る宝はありません。

そして一月六日、主人は一度も欠かさなかったことのない消防出初式を断り、付き添つてくれたのです。順番が来て診察室に入ると、医長先生はしばらくカカルテを見

手術を受けたのですが、「早期発見・早期治療」のおかげで経過は良好で日々回復にむかいました。

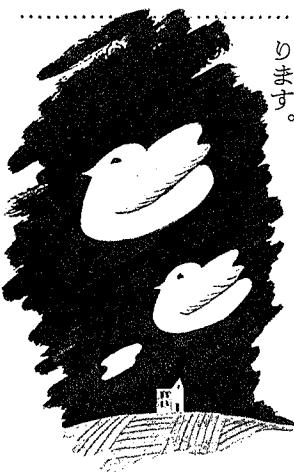
あれから十三年、一時は地獄のどん底に突き落とされた私も、今は本当に幸せな毎日を感謝の気持ちで過ごしております。

検診の重要さ、検診を受けて知る健康の有り難さを見失うことなく、自分の健康は自分で守り、家族へ、更には地域全体へと「健康の輪」を広げたいと考えております。



昭和四十七年、町主催の「がん予防講習会」が開催され何となく受講したのが受診のきっかけとなりました。初めての検診で勇気を奮っての受診でした。

検診そのものは何の苦痛もなく時間もかからず簡単に受けることができました。



先端技術化へ 人づくり

中小企業ロボット技術研修

現代はまさにコンピューターの時代。産業の各分野でコンピューターを利用した技術革新が進んでいます。県工業試験場では、県内中小企業がこの波に遅れず、少しでも早く先端技術を導入できるよう、昨年十月から、パーソナルコンピューターによるロボットの制御技術研修を行っています。

この研修は、初心者を対象に基盤から応用技術開発までの研修を行っており、各産業界のコンピューター技術への関心が高いこともあって、現在、当初予定の二倍もの方が受講中で、二月末までに計三



県工業試験場

百七十時間の講義を受けています。

受講生は、繊維、木工、化学、機械などいろんな分野の企業から派遣された人々で学習意欲が高く、初めてコンピューターに触れた人でも、今では基本的なプログラムが組めるようになっており、研修の終わるころには、各企業が必要としている技術への応用に取り組む予定です。

過去に行つたマイクロコンピューター研修などでも、卒業生は、その後、企業の先端技術化の中心となつて活躍し、各分野で技術革新に寄与されており、今回の研修

先端技術を導入して競争力をつけるためにはまずコンピュータを扱える人づくりが重要と県工業試験場では、これからもコンピューター関連技術の研修に力を入れていく予定で、またコンピュータ支援設計装置など最新の装置も導入し、ソフト、ハード両面から地場産業の活性化を支援していく

ます。

※県工業試験場では県内中小企業の技術革新などさまざまな相談に応じています。くわしくは、和歌

山市小倉60、県工業試験場(07)

同和連載

私たちと同和問題

和歌山市 星林高校 三年 高松早苗

私たちとは、三年間を通していろいろと同和問題を考えてきた。

例えば、映画「典子はいま」を見て、感想文を書いた。そのときは身体障害者が受けている差別のことに、はじめて気づき強く感動した。また、あるときはスライドで「ドーン計画」を見た。ほかにも、いろいろ同和問題に関する映画やスライド、それに先生方のお話も、たくさん聞いた。

私は、今、もう一度、それら全部をふり返つて、ある疑問をもつた。それは、それら全部、例えば、先に書いたように、身体障害者に關することとか、ドーン計画のことだが、それらのことは決して、私の身のまわりから遠いことでは

ないのに、どうして改めて教えられるまで知らなかつたのだろうか」ということだ。

そこで、私は、その理由を考えた。いろいろなことが考えられた。でも、いちばん大きな理由は、私が知らうとしなかつたからだと思

う。知る機会は、いくらでもあつたからだと思う。これは、私自身が、自分勝手な人間だという証拠だと思う。私は、そこまで考へたとき、今まで、こんなに自分自身を情けないと思つたことはないと思った。それというのは、私は

今まで、いろんな人を批判してきたのに、私は、その人たち以上に批判されるべき人間なのだと自覚させられたからだ。

そこで、私は、これから自分がしていかなければならないことを考えることにした。一つは、自分自身が人の気持ちをわかつてあげられる人間になること。そして、そのことを何かの形で表していくとすれば、例えば、機会あるごとに集会に参加するとか、講演を聞きにいくなど、考えれば、いろんな方法があることがわかつてきた。今までの私なら、自分一人だけそんなど行動をしても、どうせ何にもならないなどと理屈をつけて、やろうともしなかつたであろう。しかし、同和問題を学んでいくうち、一人ひとりの行動が大切なのだということがわかつてきた。今こそ私はずっとこういった小さな行動を続けてゆきたいと思う。

昭和61年2月1日

ヘリコプターも参加した 山火事消火訓練

第四回を迎えた広域林野火災消防訓練が11月29日、有田川河川敷で行われました。当時は、有田郡内各消防団を中心

月28日（3月6日）を前に、山火事予防の誓いを新たにしました。

〔吉備町〕

県民の友



ふるさとの祭りを貼り絵に

絵画、書道、手芸など母子家庭の方々の作品展「しらゆり作品展」一紀南ブロッカーがこのほど田辺市で行われ、東牟婁郡内の母子家庭のお母さんと子ども45人が、一緒にになってつくった「ふるさとの祭り」の貼り絵が評判になりました。

出品されたまつりは古座峠の「御舟まつり」太地の「くじらまつり」「那智の火まつり」「本宮まつり」の4つで、伝統のある祭りを生き生きとらえています。この貼り絵は、現在、東牟婁総合庁舎の正面玄関に飾られ、来訪者に喜ばれています。

〔東牟婁地方〕

2月7日は 北方領土の日

北方領土の日とは、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が我が國固有の領土であることと、平和的交渉で確認した日露通好条約調印の日（1855年2月7日）にちなみ昭和56年に決定されたものです。

この年本県では北方領土返還要求運動和歌山県民会議が設立され、以後、県民大会の開催、現地視察団の派遣、署名・啓発活動など粘り強い運動を展開しています。

北方四島の返還を実現させるため、家庭や職場でも運動の輪を広げていきましょう。

国後島 択捉島
色丹島
北海道
歯舞群島



広域捜査や災害時に威力
県警にヘリコプター配備

広域化している犯罪や災害時の救助などに備えて、このほど県警航空隊にヘリコプター「きのくに」が配備されました。このヘリコプターは五人乗りで、時速二百キロ。常駐基地となる白浜町の南紀白浜空港と和歌山市間を約二十五分で飛行できます。

「きのくに」は整備、訓練を終える四月八日ごろから本格的な活動につく予定です。



有田周辺広域圏 クリーンセンターが完成



金屋町にこのほど、有田市、吉備町、金屋町、清水町のし尿を処理するクリーンセンターが完成、処理を始めました。18億8千万円の費用をかけ、最新の設備で処理し、水質対策、臭気対策を行うとともに、地域住民の憩いの場となるようにグラウンドやプールも併設されています。



日本最古の捕鯨の町太地町
シリーズ⑥

東牟婁郡太地町は日本最初の組織的捕鯨が始まった所として有名です。太地沖には黒潮の豊富な餌を追つて鯨が昔から多く、一七五年ごろ、銛突き漁法にくらべ画期的な網捕り法が発明され、捕鯨の太地の名は全国に広まりました。

あ と が き

二月一日からの成人病予防週間にちなみ、ガン予防特集を行いました。いま日本人の死因の第一位がガンで、年間十八万人以上も人が犠牲になっています。特にガン年齢といわれる社会的にも家庭的にも責任の重い「老年」の人人がガンに倒れるということは、ひとり本人だけの問題にはとどまりません。食事への注意や運動など予防策を身につけるとともに、検診はすすんで受けることが大切です。『健康和歌山』の柱はガンの撲滅です。

この組織は、勢子舟、網舟など三十隻以上の舟と、舟大工や鋸治など多くの技術者を抱えた大きなもので、三百戸ほどが一村あげて参加していました。基本給として米、金錢が支給され、鯨肉は捕れ高に応じて配分されるなど組織は安定しているほどです。

この組織は、勢子舟、網舟など三十隻以上の舟と、舟大工や鋸治など多くの技術者を抱えた大きなもので、三百戸ほどが一村あげて参加していました。基本給として米、金錢が支給され、鯨肉は捕れ高に応じて配分されるなど組織は安定してお

り、明治の初めまで続きました。幕末、アメリカの捕鯨船が多数現れるなど、捕鯨も時代の波に洗われ、また明治十二年巨大な背美鯨を追つて死者百人以上という大遭難事件が発生、繁栄を誇った捕鯨組織も幕を閉じました。太地町は、捕鯨組織崩壊後も糸余曲折を重ねながら外洋捕鯨へと発展し、鯨の町として全国に名を知られているのは、みなさんのご存知のとおりです。